

2-2 循環型社会の構築

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由		
						22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度				24年度	25年度
1	かごしま環境未来館リサイクル工房等運営事業	環境局 リサイクル推進課	啓発・広報	○事業開始年度 平成20年度 【概要】市民の「ものを大切に作る心」を育み、ごみの発生抑制、ごみの分別の徹底及び3R活動の実践を促進するため、リサイクル工房等の管理運営を行う。 【具体的な活動内容】 1 リサイクル工房の管理運営 ・3R活動の実践方法に関する講座開催、相談、指導など 2 リユース・リサイクルショップの管理運営 ・市民から提供された未使用の日用品のポイントによる交換、イベントの開催 ・インターネット等による不用品交換情報提供 ・パネルの展示等による3R意識の啓発など	市単	[概算コスト] 20,466 [内訳] (内訳) ・決算額 18,057 ・人件費 2,409 (0.30人)	[概算コスト] 20,405 [内訳] (内訳) ・決算額 18,028 ・人件費 2,377 (0.30人)	[概算コスト] 20,359 [内訳] (内訳) ・決算額 18,004 ・人件費 2,355 (0.30人)	[概算コスト] 21,653 [内訳] (内訳) ・予算額 18,931 ・人件費 2,722 (0.35人)	リサイクル工房講座受講者数 (単位:人)	[目標値] 2,396 [実績値] 2,111 <達成率> 88.1%	[目標値] 1,876 [実績値] 1,998 <達成率> 106.5%	[目標値] 1,683 [実績値] 2,137 <達成率> 127.0%	[目標値] 1,788 [実績値] 1,788 <達成率> 100.0%	ごみ減量・3Rについての理解度 (単位:%)	[目標値] 100.0 [実績値] 99.7 <達成率> 99.7%	[目標値] 100.0 [実績値] 99.7 <達成率> 99.7%	[目標値] 100.0 [実績値] 99.6 <達成率> 99.6%	[目標値] 100.0 [実績値] 100.0 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) ※外部評価報告書参照
2	資源物回収活動活性化推進事業	環境局 リサイクル推進課	助成・育成	○事業開始年度 平成元年度 【概要】町内会、あいご会、小中学校PTA等の市民団体が実施する資源物回収活動に対して補助金を交付し、ごみの減量化・資源化を促進する。 【対象者】町内会、あいご会等の市民団体 【具体的な活動内容】 ・市民団体が実施する資源物回収活動に対する補助金の交付 ・補助額 回収量に対して 古紙類6円/kg、古繊維類・金属類3円/kg 空きびん類3円/本、廃食用油30円/l 実施回数に対して (実施回数-1) × 3千円 上限1万5千円	市単	[概算コスト] 27,439 [内訳] (内訳) ・決算額 25,030 ・人件費 2,409 (0.30人)	[概算コスト] 29,150 [内訳] (内訳) ・決算額 25,981 ・人件費 3,169 (0.40人)	[概算コスト] 28,650 [内訳] (内訳) ・決算額 25,510 ・人件費 3,140 (0.40人)	[概算コスト] 29,328 [内訳] (内訳) ・予算額 26,218 ・人件費 3,110 (0.40人)	実施団体数 (単位:団体)	[目標値] 400 [実績値] 377 <達成率> 94.3%	[目標値] 400 [実績値] 386 <達成率> 96.5%	[目標値] 400 [実績値] 389 <達成率> 97.3%	[目標値] 400 [実績値] 400 <達成率> 100.0%	回収量 (単位:トン)	[目標値] 4,049 [実績値] 3,755 <達成率> 92.7%	[目標値] 4,050 [実績値] 3,788 <達成率> 93.5%	[目標値] 4,050 [実績値] 3,643 <達成率> 90.0%	[目標値] 4,050 [実績値] 4,050 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) 市民のリサイクル活動を促進するとともに、地域の連携や環境意識の向上を図り、ごみの減量化・資源化に寄与するため、必要な事業である。
3	ごみの3R教室こども出前塾事業	環境局 リサイクル推進課	啓発・広報	○事業開始年度 平成23年度 【概要】市内の小学生へ、ごみの3R教室や生ごみのリサイクル授業を実施する。 【対象者】小学生 【具体的な活動内容】 1 ごみの3R教室の開催 市内の小学6年生を対象に、環境への理解を深め、環境に配慮した行動を推進するため、希望する学校で出前授業を開催 2 生ごみのリサイクル授業の開催 学校給食で出る調理くず等の生ごみをダンボールコンポスターで処理し、できた堆肥で農作物の収穫を行うことで、環境との関わりについての認識を深めることを目的に、市内の小学校(5校程度のモデル校)を対象に出前授業を実施	市単	[概算コスト] 0 [内訳] (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 1,807 [内訳] (内訳) ・決算額 222 ・人件費 1,585 (0.20人)	[概算コスト] 1,830 [内訳] (内訳) ・決算額 260 ・人件費 1,570 (0.20人)	[概算コスト] 1,881 [内訳] (内訳) ・予算額 326 ・人件費 1,555 (0.20人)	ごみの3R教室実施校数 (単位:校)	[目標値] 20 [実績値] 21 <達成率> 105.0%	[目標値] 20 [実績値] 18 <達成率> 90.0%	[目標値] 20 [実績値] 20 <達成率> 100.0%	[目標値] 20 [実績値] 20 <達成率> 100.0%	ごみの3R教室実施校へのアンケートで、勉強になったと回答した児童の割合 (単位:%)	[目標値] 100.0 [実績値] 98.5 <達成率> 98.5%	[目標値] 100.0 [実績値] 97.7 <達成率> 97.7%	[目標値] 100.0 [実績値] 100.0 <達成率> 100.0%	[目標値] 100.0 [実績値] 100.0 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) 次代を担う子ども自身が3Rについて理解を深め、実践するきっかけづくりとして、必要な事業である。
4	生ごみの減量化・資源化推進事業	環境局 リサイクル推進課	助成・育成	○事業開始年度 平成元年度 【概要】生ごみの減量化・資源化を図るため、生ごみ処理機器を購入・設置した市民に補助金を交付するとともに、ダンボールコンポスト講座を受講した市民にダンボールコンポストを無償配布する。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】 ・生ごみ処理機器を購入・設置した市民に対する補助 ・ダンボールコンポスト講座受講者へのダンボールコンポストの無償配布(25年度から実施)	市単	[概算コスト] 4,156 [内訳] (内訳) ・決算額 2,951 ・人件費 1,205 (0.15人)	[概算コスト] 3,479 [内訳] (内訳) ・決算額 2,291 ・人件費 1,188 (0.15人)	[概算コスト] 4,060 [内訳] (内訳) ・決算額 2,883 ・人件費 1,177 (0.15人)	[概算コスト] 7,122 [内訳] (内訳) ・予算額 5,178 ・人件費 1,944 (0.25人)	生ごみ処理機器補助基数 (単位:基)	[目標値] 476 [実績値] 411 <達成率> 86.3%	[目標値] 700 [実績値] 311 <達成率> 44.4%	[目標値] 600 [実績値] 247 <達成率> 41.2%	[目標値] 300 [実績値] 300 <達成率> 100.0%	市民1人1日あたりのごみ量 (単位:g)	[目標値] 986 [実績値] 1,006 <達成率> 98.0%	[目標値] 969 [実績値] 1,024 <達成率> 94.6%	[目標値] 953 [実績値] 1,012 <達成率> 94.2%	[目標値] 938 [実績値] 938 <達成率> 100.0%	A	B	見直し (理由) ※外部評価報告書参照
5	資源化推進事業	環境局 リサイクル推進課	その他	○事業開始年度 昭和61年度 【概要】古紙類、電球・蛍光灯、乾電池、スプレー缶類を分別収集し、処理することにより資源化を推進する。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】 ・古紙類、スプレー缶類の収集、選別、売却 ・電球・蛍光灯、乾電池の収集、選別、処理(有償) ・ごみ、資源物の組成調査	市単	[概算コスト] 94,981 [内訳] (内訳) ・決算額 92,010 ・人件費 2,971 (0.37人)	[概算コスト] 98,391 [内訳] (内訳) ・決算額 95,459 ・人件費 2,932 (0.37人)	[概算コスト] 98,739 [内訳] (内訳) ・決算額 94,893 ・人件費 3,846 (0.49人)	[概算コスト] 99,110 [内訳] (内訳) ・予算額 95,300 ・人件費 3,810 (0.49人)	古紙類、乾電池、電球・蛍光灯、スプレー缶類の収集量 (単位:t)	[目標値] 16,243 [実績値] 17,635 <達成率> 108.6%	[目標値] 16,557 [実績値] 17,441 <達成率> 105.3%	[目標値] 16,870 [実績値] 16,625 <達成率> 98.5%	[目標値] 17,185 [実績値] 17,185 <達成率> 100.0%	資源化率 (単位:%)	[目標値] 18.1 [実績値] 19.2 <達成率> 106.1%	[目標値] 18.6 [実績値] 17.7 <達成率> 95.2%	[目標値] 16.4 [実績値] 15.8 <達成率> 96.3%	[目標値] 16.9 [実績値] 16.9 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) 古紙類、蛍光灯・乾電池等の分別収集及び再資源化を図ることにより、ごみの減量化・資源化が推進されるため、必要な事業である。
6	ごみステーション整備費の助成	環境局 リサイクル推進課	助成・育成	○事業開始年度 平成17年度 【概要】町内会等が実施するごみステーションの整備に要する経費に対して補助金を交付する。 【対象者】町内会やその他の団体等 【具体的な活動内容】 ・ボックス型ごみステーションの整備に要する経費への補助 ・補助額 整備に要する経費の2分の1以内で限度額5万円	市単	[概算コスト] 3,084 [内訳] (内訳) ・決算額 1,879 ・人件費 1,205 (0.15人)	[概算コスト] 3,144 [内訳] (内訳) ・決算額 1,956 ・人件費 1,188 (0.15人)	[概算コスト] 3,510 [内訳] (内訳) ・決算額 2,333 ・人件費 1,177 (0.15人)	[概算コスト] 3,166 [内訳] (内訳) ・予算額 2,000 ・人件費 1,166 (0.15人)	ボックス型ごみステーション補助件数 (単位:件)	[目標値] 40 [実績値] 43 <達成率> 107.5%	[目標値] 40 [実績値] 45 <達成率> 112.5%	[目標値] 40 [実績値] 52 <達成率> 130.0%	[目標値] 40 [実績値] 40 <達成率> 100.0%	快適な生活環境の保全	[目標値] [実績値] [実績値] [実績値]	[目標値] [実績値] [実績値] [実績値]	[目標値] [実績値] [実績値] [実績値]	[目標値] [実績値] [実績値] [実績値]	A	A	継続 (理由) ボックス型のごみステーションを設置することにより、周辺の安全衛生、美化の向上が図られるため、必要な事業である。

2-2 循環型社会の構築

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由		
						22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度				24年度	25年度
7	リデュース・リユース・リサイクル(3R)推進事業	環境局 リサイクル推進課	啓発・広報	○事業開始年度 平成17年度 【概要】3Rの意識啓発と実践活動の推進を図るため、市電・市バスの車体広告を行うとともに、ごみ出しカレンダーの配布や児童作品コンクールの開催などの広報・啓発を行う。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】 ・ごみ出しカレンダーの作成・配布 ・ごみの資源化・減量化児童作品コンクール(標語・ポスター)の開催 ・小学生向け学習資料の作成・配布 ・学生向け啓発チラシの作成・配布 ・市電、市バスの車体広告	市単	[概算コスト] 17,394 (内訳) ・決算額 14,182 ・人件費 3,212 (0.40人)	[概算コスト] 13,251 (内訳) ・決算額 10,082 ・人件費 3,169 (0.40人)	[概算コスト] 13,862 (内訳) ・決算額 10,722 ・人件費 3,140 (0.40人)	[概算コスト] 17,103 (内訳) ・予算額 13,993 ・人件費 3,110 (0.40人)	各種啓発資料の合計作成部数 (単位:部)	[目標値] 426,500 [実績値] 666,420 <達成率> 156.3%	[目標値] 366,800 [実績値] 358,800 <達成率> 97.8%	[目標値] 366,800 [実績値] 363,800 <達成率> 99.2%	[目標値] 372,800	市民1人1日あたりごみ・資源物の排出量 (単位:g)	[目標値] 986 [実績値] 1,006 <達成率> 98.0%	[目標値] 969 [実績値] 1,024 <達成率> 94.6%	[目標値] 953 [実績値] 1,012 <達成率> 94.2%	[目標値] 938	A	A	継続 (理由) ※外部評価報告書参照
8	資源物等収集適正化推進事業	環境局 廃棄物指導課	監視・規制	○事業開始年度 平成20年度 【概要】 持ち去り行為監視指導員4人を委嘱し、ごみ及び資源物のごみステーションからの持ち去り行為を未然に防止する。 【対象者】 持ち去り行為者 【具体的な活動内容】 市及び市から収集運搬の委託を受けた者以外による、ごみステーションに排出された一般廃棄物の持ち去り行為を防止するため、監視指導員を配置し、市内一円のごみステーションにおいて、監視・指導を行う。	市単	[概算コスト] 11,069 (内訳) ・決算額 9,864 ・人件費 1,205 (0.15人)	[概算コスト] 11,317 (内訳) ・決算額 10,129 ・人件費 1,188 (0.15人)	[概算コスト] 10,936 (内訳) ・決算額 9,759 ・人件費 1,177 (0.15人)	[概算コスト] 11,240 (内訳) ・予算額 10,074 ・人件費 1,166 (0.15人)	パトロール延べ日数 (単位:日)	[目標値] 261 [実績値] 307 <達成率> 117.6%	[目標値] 261 [実績値] 294 <達成率> 112.6%	[目標値] 261 [実績値] 278 <達成率> 106.5%	[目標値] 261	指導件数 (単位:件)	[目標値] 60 [実績値] 60 <達成率> 100.0%	[目標値] 80 [実績値] 80 <達成率> 100.0%	[目標値] 101 [実績値] 101 <達成率> 100.0%	[目標値] 101	A	C	統合 (理由) 個人に対する指導件数は増加しているが、悪質な業者に対する指導件数は減っており、22年度以降逮捕者も出ていないこと、監視パトロールについては定型化されていることから、市内一円の監視パトロールを行っている廃棄物監視指導員設置事業と統合し、効率的な監視・指導体制を構築すべきである。
9	廃棄物監視指導員設置事業	環境局 廃棄物指導課	監視・規制	○事業開始年度 平成7年度 【概要】 廃棄物監視指導員4人を委嘱し、不法投棄や野外焼却の早期発見と早期対応を行うため監視パトロールを実施するとともに、産業廃棄物処理施設及び自動車リサイクル関係事業所への立入りによる指導等を行い、不適正処理の未然防止を図るもの。 【対象者】【具体的な活動内容】 ①廃棄物の不法投棄等監視パトロール ②事業所及び産業廃棄物処理施設に対する指導及び立入調査 ③自動車リサイクル法に基づく登録業者及び許可業者の施設に対する指導及び立入調査 ④廃棄物の不法投棄等に係る調査及び苦情処理⑤報告書の作成 ⑥その他所長が指示する事項	市単	[概算コスト] 11,668 (内訳) ・決算額 10,463 ・人件費 1,205 (0.15人)	[概算コスト] 11,366 (内訳) ・決算額 10,178 ・人件費 1,188 (0.15人)	[概算コスト] 11,246 (内訳) ・決算額 10,069 ・人件費 1,177 (0.15人)	[概算コスト] 11,582 (内訳) ・予算額 10,416 ・人件費 1,166 (0.15人)	パトロール日数 (単位:日)	[目標値] 699 [実績値] 699 <達成率> 100.0%	[目標値] 730 [実績値] 730 <達成率> 100.0%	[目標値] 684 [実績値] 684 <達成率> 100.0%	[目標値] 684	苦情処理対応件数 (単位:件)	[目標値] 391 [実績値] 391 <達成率> 100.0%	[目標値] 344 [実績値] 344 <達成率> 100.0%	[目標値] 327 [実績値] 327 <達成率> 100.0%	[目標値] 327	A	C	統合 (理由) 不法投棄場所のパトロールについては、定型化されていることから、市内一円のごみステーションの監視パトロールを行っている資源物等収集適正化推進事業と統合し、効率的な監視・指導体制を構築すべきである。
10	親子による施設見学会の開催	環境局 廃棄物指導課	イベント	○事業開始年度 平成21年度 【概要】 夏休みに親子でごみの排出場所や廃棄物処理施設等の見学を行い、ごみ処理について学習する場を提供し、家庭及び地域内での実践的なごみの減量化・資源化を図る。 【対象者】 市内の小学生とその保護者 【具体的な活動内容】 ・リサイクルプラザ・北部清掃工場の見学 ・かごしま環境未来館の見学	市単	[概算コスト] 815 (内訳) ・決算額 173 ・人件費 642 (0.08人)	[概算コスト] 762 (内訳) ・決算額 128 ・人件費 634 (0.08人)	[概算コスト] 815 (内訳) ・決算額 187 ・人件費 628 (0.08人)	[概算コスト] 897 (内訳) ・予算額 275 ・人件費 622 (0.08人)	実施回数 (単位:件)	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1	アンケートで満足したと回答した世帯数 (単位:世帯)	[目標値] 28 [実績値] 27 <達成率> 96.4%	[目標値] 26 [実績値] 26 <達成率> 100.0%	[目標値] 35 [実績値] 33 <達成率> 94.3%	[目標値] 40	A	F	廃止 (理由) 親子でごみ処理について学習し、家庭や地域内でのごみの分別等向上を図るため、必要な事業であるが、同じ夏休みに無料で北部清掃工場・リサイクルプラザ親子見学会が計8日あることや、小学4年生は授業で、一般は市営施設見学会で見学する機会もあることから、廃止すべきである。